



グローリアバッハ合唱団 第3回 定期演奏会



2022年4月30日^土 14時開演
於 川口総合文化センター「リリア」
4階 音楽ホール

指揮	高橋 誠也
管弦楽	グローリアバッハ アンサンブル
合唱	グローリアバッハ合唱団
オルガン	高木 三保

主催：グローリアバッハ合唱団
後援：川口市民音楽協会
川口市合唱連盟

プログラム

1 モテット第5番「Komm, Jesu, komm」 BWV229

2 カンタータ第106番 BWV106

休 憩

3 管弦楽組曲第2番 BWV1067

4 カンタータ第39番 BWV39

ご挨拶

団長 野田 時敏

第3回グローリアバッハ演奏会へのご来場、心より御礼申し上げます。コロナ禍による演奏会延期はありましたが、幸いにも公民館での合唱練習は継続することができ、本日3年ぶり演奏会開催に至りました。響きのよいリリア音楽ホール演奏という幸運にも恵まれました。あとは練習成果を皆様楽しんでいただければ、この上ない喜びで有ります。最後に、昨年5月都倉俊一文化庁長官声明「文化芸術に関わる全ての皆様へ」（下記抜粋参照）を皆様と共有したいと思います。

「皆様におかれては、これからも文化芸術に関する活動を、可能な限りご継続ください。文化庁長官として私が先頭に立って、そのための支援に全力を尽くしてまいります。（中略）文化芸術活動は、断じて不要でもなければ不急でもありません。このような状況であるからこそ、社会全体の健康や幸福を維持し、私たちが生きていく上で、必要不可欠なものであると確信しています。」

指揮者より

指揮者 高橋 誠也

本日は私共のコンサートにお越し下さり誠に有難うございます！ 再び川口にバッハが響き、うれしく思います。コロナ、戦争など何かと心騒ぐ時が続いています。バッハの時代も今日と同じように疫病や争いの不安があったようです。その中であって、若い頃はケーテン公の宮廷楽団の楽長として多数の器楽曲を作曲し、その後ライブツィヒ聖トマス教会のカントールとして多くのカンタータや受難曲を作曲し、毎週日曜日の礼拝で演奏しました。芸術的に立派な曲というよりは信徒たちの信仰を高める為に作曲したといわれ、苦悩の底にあってイエスの光を見た魂がイエスを信じることによって癒やされ、救いを得るに至るという筋立てを骨格としているようです。

私たちも、バッハの素晴らしいハーモニーや旋律の響きに身を任せ、様々な不安を抱える魂を一時でも癒やされたいものです。どうぞ最後までお聴き下さるようお願いいたします。



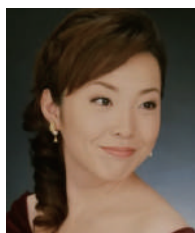
●指揮 高橋 誠也

1963年山形大学教育学部特設音楽科卒業。64年同大学教育専攻科（ピアノ）を修了。卒業と同時に上京し、オペラや声楽の伴奏者として活動を始める。ピアノを石川治子、指揮を前田幸市郎、伴奏法を小林道夫の各氏に師事。68年東京藝術大学大学院オペラ科講師となり、客員教授ニコラ・ルッチ氏に強く音楽的影響を受け、氏の下で多数のオペラ制作に携わる。72年神奈川フィルで指揮者としてデビューし、在京のオケや東北各地のオーケストラでコンサート指揮者として活躍する一方、日本オペラ協会、横浜カントーレなどで数々のオペラを指揮する。「東京合唱団」でピアニスト兼副指揮者を長く務め、前田幸市郎氏に宗教音楽を学ぶ。82年「東京 JS バッハ合唱団」を主宰し、以後毎年、マタイ、ヨハネ受難曲、口短調ミサ曲などを公演し、バッハの教会音楽の研究をライフワークとしている。



●ソプラノ 藤井 あや

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院独唱科修了。その後ロンドンに渡りギルドホール音楽院の古楽科及び Post Diploma Vocal Training コースに学ぶ。ソリストとして様々な宗教曲を歌う他、オペラでも日本ヘンデル協会公演「アグリッピーナ」「ディダミーア」等、東京室内歌劇場のパイジエッロ「ニーナ」マスネー「サンドリヨン」のタイトルロールを務めて好評を博す。またバロックハープの久保田潤子とユニット「ENTHEOS」を結成し、イタリア初期バロックの演奏会を重ねるなど、古楽から現代音楽までソロ・アンサンブルを問わず広い分野で活動。日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会会員。



●アルト 中野 由弥

東京藝術大学声楽科卒業。在学時にモーツァルト作曲「コジ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ役でオペラデビュー。その他多数のオペラに出演。また「第九」をはじめモーツァルトやヴェルディの「レクイエム」など宗教曲のソロをつとめる。合唱指導、ヴォイス・トレーナーとして活動している。声楽を野本立人、大國和子、寺谷千枝子、永井和子の各氏に師事。埼玉新演奏家連盟会員、東京カンタータ・コレギウムメンバー。



●テノール 吉野 健太

国立音楽大学声楽科卒業。洗足学園音楽大学大学院修士課程修了。声楽を竹内則雄、藤川泰彰、故経種廉彦、田口興輔の各氏に師事。オペラや歌曲、教会音楽など様々な演奏に携わり、アンサンブルソリストとしても活躍。また、個人や合唱団のヴォイス・トレーナー、合唱指導者として、邦人作品をはじめ教会音楽や第九の指導も行っている。

「大和混声合唱団」ヴォイストレーナー兼指揮者。女声合唱団「ル・ソレイユ」指揮者。合唱&管弦楽「Eulenspiegel」合唱コンサートマスター。声楽アンサンブル「Resonanz Kapelle」メンバー。



●バス 金沢 平

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院独唱科修了。芸大メサイア、第九、「レクイエム」（モーツァルト、フォーレ、ブラームス、ヴェルディ）、「天地創造」「エリア」「戴冠ミサ」「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」など数々のソリストをつとめる。BS-TBS「日本名曲アルバム」にアンサンブルメンバーとして出演。「紅天女」楠木正儀役で出演し好評を博す。フリーで活動中。



●オルガン 高木 三保

東京音楽大学にてピアノとオルガンを学ぶ。卒業演奏会に出演。卒業後は夫でサクソフォン奏者の高木玲とのデュオリサイタルをはじめ、器楽や声楽の伴奏などに数多く出演。父、高橋誠也の指導する合唱団にて長年伴奏を務める。「in Amuse」のジョイントリサイタルをはじめ、「ラブソディー・イン・ブルー」、ピアノ協奏曲（シューマン）などのソリストとしてオーケストラと共演。現在「舞岡おんがく教室」（横浜市）を主宰。埼玉新演奏家連盟理事。ピアノを石川治子、三浦捷子、オルガンを植田義子の各氏に師事。

グローリアバッハ アンサンブル

高橋誠也氏の指導するバッハを専門に歌う合唱団の専属オーケストラとして10年前に発足。「東京 JS バッハ合唱団」との共演では受難曲やカンタータなどバッハの教会音楽を数多く演奏する。市民オーケストラや大学オーケストラの中から優秀なメンバーが集まりバロック音楽、特にバッハの研究を主なテーマとして高橋誠也氏のもと活動している。2014年5月、「東京 JS バッハ合唱団」と共にバッハ生誕の地アイゼナハ、その周辺のバッハが活躍したケーテン、ライプツィヒでコンサートを行う。

コンサートマスター 平澤 卓也

フルートソロ 石黒 祐子

第1ヴァイオリン

近藤ひとみ

佐久間棕子

高橋真理子

第2ヴァイオリン

氏家 夏子

高橋 英子

竹尾さりい

福島 宏章

ヴィオラ

小泉 界

藤原 祥吾

本郷 一真

チェロ

桑名 俊光

桑名 尚子

コントラバス

安藤 拓也

フルート

今野 明子

オーボエ

長谷部信夫

森川 こと

ファゴット

高橋 肇

グローリアバッハ合唱団

バッハ愛好家により2014年川口市に誕生。高橋誠也氏を指導者に迎え、バッハの教会音楽を主に取り上げ、カンタータ、モテット、ミサ曲等の演奏を通してバッハ合唱音楽の偉大な魅力を追求している。主に火曜日19時～21時、川口市幸栄公民館（川口駅より徒歩5分）で練習。これまで川口市合唱祭、新庄市合唱祭などに参加。2018年4月第1回演奏会を開催。5月には高橋誠也氏指導のバッハ合唱団有志でバッハゆかりの地（ドイツ）を訪れ、2回の演奏会実施。2019年1月第2回演奏会を開催。

*賛助団員

ソプラノ

石橋 京子

加藤めぐみ

神近 明子

*小泉 英恵

角 元子

瀧 友美

竹内 眞名

長瀬 靖子

アルト

井上 広子

大西 素子

尾作ゆり子

*小野真樹子

加藤 和子

高寺 紀子

武井 佳子

竹原スミ子

永村由実子

テノール

*石井 怜

*佐藤 悠究

野中 清志

バス

*小野 博

小柳 賛平

清海 正敏

竹内 智之

中島 直生

野田 時敏

山田 哲也

1 モテット 第5番「来てください、イエスよ、来てください」BWV 229

バッハが1730年頃、ある裕福なライプツィヒ市民の葬儀のために作曲したといわれ、テキスト（歌詞）は1684年に執り行われたトマス学校長の葬儀のための葬送アリアの第1、2節を使用しています。この時の報酬が多額だったようで、バッハは2グループの混声4部合唱（8声）という構成で作曲をしました。モテットはカンタータと違って独唱によるアリアやレチタティーヴォ（叙唱）が無く合唱だけで構成されています。曲は4部分に分けることができます。

第1部の冒頭は、悩める魂が安らぎを求めて「来てください」、「疲れ果てて私の力は衰えていく」「あなたの平安にあこがれる」「この苦しみの道は私には辛過ぎる」などのテキストの内容に対応した音型により、2つのグループが交互にイエスに呼びかけます。

第2部は「あなたに身を委ねます」と歌い、イエスに信頼を寄せる喜びにより、呼びかけも明るく弾むようなリズムに変化します。この部分是对位法によるフーガ形式、8つのパートが次々と熱い思いを生き生きと語ります。

第3部は「あなたこそ まことの道、真理、命です」とイエスに対する賛美の言葉が8分の6拍子の優雅な舞曲で表現され、2つのグループが交互に確かめ合うように歌い交わし、最後にはその華麗なフーガ主題を2つのグループが一緒に響かせて主を讃えます。

第4部は「アリア」と題された完全なバッハの作曲による4声のコラール風の曲ですが、体は滅びても魂は永遠に創り主のそばで漂うと、救いを得た喜びを歌います。いつの頃からか、この部分はソプラノソロが先導し、次に合唱が繰り返して歌うという習慣ができました。今日もそのように演奏します。

このモテットは知名度こそ受難曲やカンタータに及ばないものの、バッハの和声と対位法の技法がちりばめられ、格別な美しさと輝きを保ち続けています。そして演奏するにあたっては、広い声域と高度な技術を要求され、厳格なポリフォニー合唱曲の巨峰としてそびえ立っています。

2 カンタータ 第106番「神が決められた時が最上の時」 BWV 106

バッハの時代、ルター派教会では日曜日には4時間の礼拝が行われ、聖書朗読や説教やオルガン演奏と共に30分程度の小編成器楽伴奏付きの合唱曲（カンタータ）が挟まれるのが常でした。その日の聖句に関連した宗教詩に基づきあらゆる音楽的形式、作曲技法を駆使して、バッハは生涯200曲あまりの教会カンタータを作曲しました。

この106番のカンタータはバッハ22歳の時、叔父レンマーヒルトの葬儀用として作られました。4つの部分からなり、歌詞はほぼ聖書から取られています。

第1部

ソナティーナと名のついた序奏。2本のフルートと今は古楽器となった2本のヴィオラ・ダ・ガンバ（ヴィオラとチェロのあいの子）、それに通奏低音（チェロ、コントラバス、オルガン）という指定です。葬式のカンタータに相応しく、くすんだ音色で統一され悲しみの葬列を思い起こさせる20小節の短い曲です。今日はガンバの代わりにヴィオラとチェロで演奏します。

第2部

ソプラノの先導により合唱が「神が決められた時は最上の時」と落ち着いた語り口で、決然と宣言します。「神の内に私たちは生き～」の部分に進むと速いテンポになり、人がむなしく動き回る様を表し、「最善の時に神の中で死ぬ」という歌詞に対しては悲しみを帯びた緩やかな旋律になり、死をまぬがれない悲しさを持って語ります。次いで、テノールソロが切々と「死ぬべき定めを理解させて下さい」と訴え、次にバスソロが続き、「来るべき死に備えて家の中を整えよ」と歌います。伴奏に慌ただしくせかすようなフルートの動きがみられます。合唱となり、人よ、死ぬことは昔からの定め、と各パートが対位法によるポリフォニックな動きで次々と歌い、それを受けてソプラノが天使のごとき清らかな響きで「主イエスよ、来てください」と祈るも、絶望感のうちに段々と声が弱まり消えるように終わります。

第3部

憧れを暗示するチェロのソロによる上行形の前奏に導かれてアルトソロが「私の魂を御手に委ねます」と歌い、冒頭のチェロの憧れの音型による後奏となり終わります。これに答えるように、バスソロが明るく堂々と「今日あなたは私と共に楽園にいる」と、イエスの言葉とも思われるアリオーソを歌います。合唱（アルト）がこのアリオーソに答えて、コラール「平和と喜びのうちに私は旅立ちます」と静かな口調で神への信頼を表します。アルトの合唱が入ってくる頃には花を添えるようにガンバも加わり、チェロとコントラバスは細かな動きがやんで「キリストの歩み」と言われる8分音符だけのゆるぎない音の進行に変化し「神が約束した通り死は眠りに変わった」と、平安な眠りの世界を暗示しています。

第4部

前半は堂々と神を称え、神の力で永遠の命を得ることが出来ますようにと祈ります。後半はフーガの技法によるポリフォニックな動きとなり、各パートが「イエス・キリストによりて、アーメン」と力強く歌います。罪のゆえに死ぬという古い契約の定めが、罪を赦されしゆえに死こそ永遠の生命の門出となる、との新しい契約の福音に触れた喜びが歌われます。「アーメン」に付けられたこまかな16分音符の躍動感溢れるメリスマ唱法が生き生きと繰り返されて、永遠の命の確信と、神への感謝の思いが爆発するかのようです。

3 管弦楽組曲 第2番 口短調 BWV 1067

4曲ある管弦楽組曲はバッハがケーテンの宮廷楽団の楽長をつとめていた、1717年～1723年の間に書かれたと推測されています。「Bach」は「小川」の意ですが、ベートーヴェンはむしろ「大海」というべきと言ったと伝えられています。長い間流れ続けてきた過去のあらゆる音楽形式という川がバッハにおいて合流し大海となっているというわけです。この曲はドイツ民衆の間で発展してきた舞踏音楽と華麗で洗練されたフランス宮廷音楽の合流と言われています。外面的な虚飾に陥りがちであった宮廷音楽に人間の生き生きとした生命を与え、素朴な民衆音楽を芸術的な高みに押し上げたもの、それがこの管弦楽組曲と言われています。独奏フルートと弦合奏により全7曲よりなっています。

1. 序曲

フランス風序曲（緩急緩）のスタイルで書かれており、ゆっくりしたテンポの第1部は附点リズムが終始続けられ、全体として悲壮感が支配しています。中間部は快速のフーガ部分で、途中独奏フルートに華やかな走句が時々表れて生き生きとした楽しさを感じさせます。そして最後には（第3部）少し変形された最初のゆっくりした部分が戻ってきます。

2. ロンド

軽快なテンポの速い曲で、同じテーマが何度も繰り返される間に変化のあるエピソードが入ってくる形式です。独奏フルートは終始ヴァイオリンとユニゾンで進みます。

3. サラバンド

ゆったりとした3拍子でカノン風（追いかけて）に展開します。この舞曲は16世紀はじめ頃スペインに現れ発達したもので速度やリズムは正確で威厳をたたえたものです。優雅に流れる主題が次々と歌い継がれていく美しい曲です。

4. ブーレ

2分の2拍子の生気澁刺とした曲で、2つのブーレからなり第1ブーレは全楽器の総奏に対して第2ブーレは静かな弦伴奏に支えられて独奏フルートが華やかに活躍します。もう一度最初に戻るの、第2ブーレは事実上中間部ということになります。

5. ポロネーズ

ポーランド生まれの3拍子の舞曲で、バッハの頃から芸術音楽に取り入れられるようになりました。そのリズムは独特なもので威厳に富むものです。中間部は初めの旋律をチェロ独奏が受け持ち、それにフルートが華麗で名人芸的対旋律を付けるものです。曲はもう一度冒頭に戻ります。

6. メヌエット

フランスの田舎の踊りだったのが17世紀の終わり頃宮廷に取り入れられ、ゆったりとして優雅なステップのゆえに上流階級の好みの踊りとなりました。バロック時代の多くの舞曲は滅びたにも拘わらずこのメヌエットだけは生き残り、ハイドンやモーツァルトも多くの曲で取り上げています。

7. バディネリ

バディネリは「冗談」の意味があり、18世紀（バロック時代）の組曲の中の一楽章として用いられるようになりました。軽やかな2拍子のおどけた舞曲めいた曲で、バッハによるこの曲も底抜けに楽しいものになっています。

4 カンタータ 第39番「飢えた人にあなたのパンを裂き与えよ」 BWV 39

バッハがライプツィヒ・聖トマス教会のカントールに就任して3年後の1726年6月23日、三位一体後第1日曜日に初演されたことがはっきりしています。この日の聖句朗読はルカによる福音書16章19節～31節で「金持ちと乞食のラザロのたとえ話について」でした。この章句は、自らの恵まれた境遇に驕って悔い改めと慈しみを忘れた者に、神が死後厳しい裁きを行うことを物語っています。カンタータはこれを踏まえたテキスト（歌詞）によって音楽による聖書解釈を行い、続く牧師の説教へと会衆を備えさせる役目を持っていました。このカンタータは第1部と第2部とに分かれ、間に聖職者による説教が行われました。合唱、アリアなど全7曲からなっています。

（第1部）

1. 合唱

22小節の前奏を持つ大合唱曲です。派手な響きを一切避けて、つつましい音運びの前奏に続き「飢えた人にあなたのパンを分け与え」と2度、落ち着いた語り口で歌い始めます。「裸の人に出会うなら衣を着せかけ」では活気を帯びたやや軽やかな口調となります。「そうすれば、あなたの光はあけぼののように射出で」の部分では明るく速いテンポの3拍子となり、フーガ形式で書かれ、テノールからアルト、ソプラノの順でほぼ無伴奏で歌われます。バスが最後にオーケストラとともに入ってきて、あけぼのの現れる様が見事に表現されています。さらにフルート2本にもテーマが与えられて5声部のポリフォニーへと高められます。最終局面の「主の栄光があなたを取り囲む」に対しては、力強くバスから始まるフーガとなり、全楽器による輝かしい総奏は、善人の隣人愛の行いに対する大いなる神の恵みを得ることを強調しています。

2. レチタティーヴォ（バス）

チェロとオルガンの伴奏による叙唱で神から与えられた大いなる恵みに感謝し、隣人に示す愛の行いが、どんな贈り物よりも神の心に触れるのだ、と説きます。

3. アリア（アルト）

オーボエとヴァイオリンの美しい二重奏の伴奏を伴います。神の憐れみにならって、幸せの種を地上で蒔き、それを天国で刈り取るのだ、とやはり隣人に対する愛の大切さを論じます。オーケストラに種を蒔く音が認められます。

（第2部）

4. アリア（バス）

歌の旋律と同じチェロの前奏により、イエスの声と思われる口調で「善い行いと施しを忘れるな」「このような捧げものこそ神の喜び」と繰り返し論じます。

5. アリア（ソプラノ）

清らかなフルートの助奏に乗って「私の持っているものは全て神から頂いたもの～」と感謝をしつつ、しかしそれを携えて神に感謝を表そうとしても神はそのようなものは喜ばない、と隣人愛の大切さを歌います。

6. レチタティーヴォ（アルト）

弦楽合奏の伴奏により「貧しい人の、またこの世の弱い人の役に立ちます」と隣人愛を確約し、いつの日

にか、あなたが約束されたもの（命）を来たるべき世で頂くことが出来ますようにとの祈願が歌われます。

7. コラール

最終合唱曲はマタイ伝・第5章に基づくコラール（1648年デーニケ作）の第6節（歌詞）によっています。憐れみ深い人は幸い、言葉や行動で隣人を助ける人はやがて神の助けを受け、また憐れみを手に入れるでしょう、と信徒の確信に満ちた言葉を讃美歌風の美しい響きに乗せて、深い感動のうちにバッハの音楽説教は終わります。

（曲目解説：高橋誠也）



1 モテット第5番「来てください、イエスよ、来てください」 BWV 229

J.S. バッハ

歌詞対訳：堀田晶子（国井健宏神父 監修）

I. Chor

Komm, Jesu, komm,
 mein Leib ist müde,
 die Kraft verschwindt je mehr und mehr,
 ich sehne mich nach deinem Friede;
 der saure Weg wird mir zu schwer!
 Komm, komm, ich will mich dir ergeben,
 du bist der rechte Weg,
 die Wahrheit und das Leben.

II. Arie

Drum schließ ich mich in deine Hände
 und sage, Welt, zu guter Nacht!
 Eilt gleich mein Lebenslauf zu Ende,
 ist doch der Geist wohl angebracht.
 Er soll bei seinem Schöpfer schweben,
 weil Jesus ist und bleibt
 der wahre Weg zum Leben.

I. 合唱

来てください、イエスよ、来てください。
 私の体は疲れ果て
 力はみるみるうちに衰えてゆきます。
 私はあなたの平安に焦がれます。
 この苦しみの道は、私には辛過ぎるのです！
 来てください、あなたにこの身を委ねます。
 あなたこそまことの道、
 真理、命です。

II. アリア

ゆえに、私はあなたの御手に身を任せ、
 こう告げます。「この世よ、さようなら」と。
 私の生涯は、すぐに幕を閉じますが、
 しかし、魂は安全にながらえ、
 創り主の御許に漂うでしょう。
 何故なら、イエスが命へのまことの道であり、
 いつまでも共にいて下さるからです。

2 カンタータ第106番「神が決められた時が最上の時」 BWV 106

J.S. バッハ

対訳：国井 健宏神父

1. Sonatine

2. Chor

Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit.
In ihm leben, weben und sind wir,
so lange er will.
In ihm sterben wir zur rechten Zeit,
wenn er will.

Solo (Tenor)

Ach, Herr, lehre uns bedenken
daß wir sterben müssen
auf daß wir klug werden.

Solo (Bass)

Bestelle dein Haus; denn du wirst
sterben und nicht lebendig bleiben!

Chor

Es ist der alte Bund:
Mensch, du mußt sterben!

Solo (Sopran)

Ja, komm, Herr Jesu!

3. Duett

Solo (Alt)

In deine Hände befehl ich meinen Geist;
du hast mich erlöst, Herr,
du getreuer Gott.

Solo (Bass)

Heute wirst du mit mir im Paradies sein.

Chor (Alt)

Mit Fried und Freud ich fahr dahin
in Gottes Willen,
Getrost ist mir mein Herz und Sinn,
Sanft und stille.
Wie Gott mir verheißen hat:
Der Tod ist mein Schlaf worden.

1. ソナティーナ

2. 合唱

神が決められた時が最上の時。{自由詩；作者不明}
神の内に私たちは生き、動き、存在する；
神の意思であるかぎり。{使徒17:28}
私たちは最善の時に神の中で死ぬ、
神が望まれる時に。{自由詩}

ソロ（テノール）

あゝ主よ、私たちの心に刻んでください、
我々が死すべき者であることを、
我々が賢明になるために。{詩篇90:12}

ソロ（バス）

あなたの家を整理せよ。なぜなら、あなたは死ぬ；
生き続けるのではない。{イザヤ 38:1}

合唱

これがいにしへの契約；
人は必ず死ぬ。{シラ14:17}

ソロ（ソプラノ）

そうです。主イエスよ、来てください！

{ヨハネ黙示録22:20}

3. デュエット

ソロ（アルト）

私の魂を御手に委ねます。{詩篇31:6}
主よ、誠を保たれる神よ、
あなたが私を救ってくださいました。{自由詩}

ソロ（バス）

今日あなたは私とともに樂園にいる。{ルカ23:43}

合唱（アルト）

平和と喜びのうちに私は旅立ちます、
神の御旨のままに。
私の心と思いは慰めに満ち、
穏やかに落ち着いています。
神が約束してくださった通り、
死は眠りに変えられました。

{ルター作；死と永遠を想うコラール}

4. Chor

Glorie, Lob, Ehr und Herrlichkeit
 Sei dir, Gott Vater und Sohn bereit,
 Dem Heiligen Geist mit Namen!
 Die göttlich Kraft
 Macht uns sieghaft
 Durch Jesum Christum, amen.

4. 合唱

栄光、讃美、誉れと尊厳が
 神なる父と子に用意されますように、
 聖霊の御名によって！
 神の力によって
 私たちが勝利をおさめることができますように、
 イエス・キリストによりて、アーメン。



4 カンタータ 第39番「飢えた人にあなたのパンを裂き与えよ」 BWV 39

J.S. バッハ

対訳：国井 健宏神父

1. Chor

Brich dem Hungrigen dein Brot,
und die, so im Elend sind, führe ins Haus!
So du einen nakket siehest, so kleide ihn
und entzeuch dich nicht von deinem Fleisch.
Alsdenn wird dein Licht herfürbrechen
wie die Morgenröte,
und deine Besserung wird schnell wachsen,
und deine Gerechtigkeit wird für dir hergehen,
und die Herrlichkeit des Herrn
wird dich zu sich nehmen.

2. Rezitativ (Bass)

Der reiche Gott wirft seinen Überfluß
auf uns, die wir ohn ihn
auch nicht den Odem haben.
Sein ist es, was wir sind;
er gibt nur den Genuß,
doch nicht, daß uns allein
nur seine Schätze laben.
Sie sind der Probestein,
wodurch er macht bekannt,
daß er der Armut
auch die Notdurft ausgespendet,
als er mit milder Hand,
was jener nötig ist, uns reichlich zugewendet.
Wir sollen ihm für sein gelehntes Gut
die Zinse nicht in seine Scheuren bringen;
Barmherzigkeit, die auf dem Nächsten ruht,
kann mehr als alle Gab ihm an das Herze dringen.

1. 合唱

飢えた人にあなたのパンを裂き与え、
苦境にある人を家に招き入れよ。
裸の人に出会うなら衣を着せかけ、
同朋に助けを惜しまないこと。
そうすれば、あなたの光は
あけぼののように射出で、
あなたの傷は速やかに癒される。
あなたの正義があなたを先導し
主の栄光があなたを取り囲む。(イザヤ58:7-8)

2. レチタティーヴォ (バス)

偉大なる神は我々に豊かな恵みを与え、
その我々は
神なしでは息もできない者。
私たちのすべては神のもの；
神は喜ばせてくれるが
私たちだけが
神の賜物を楽しむためではない。
それは一つの試金石、
それによって神は私たちに教えてくださる、
神は貧しい人が必要とするものを
惜しみなく満たして下さるということを、
神が優しい手で
その必要とするものを我々に惜しみなく与えて下さった時に。
我々は神から借りた賜物の借り賃を神のために
その御倉に運ぶ必要はない。
隣人に注がれるところの慈悲が
どんな贈りものよりも神の心に触れるのだ。

3. Arie (Alt)

Seinem Schöpfer noch auf Erden
 nur im Schatten ähnlich werden,
 ist im Vorschmack selig sein.
 Sein Erbarmen nachzuahmen,
 streuet hier des Segens Samen,
 den wir dorten bringen ein.

4. Arie (Bass)

Wohlzutun und mitzuteilen vergesset nicht,
 denn solche Opfer gefallen Gott wohl.

5. Arie (Sopran)

Höchster, was ich habe,
 ist nur deine Gabe.
 Wenn vor deinem Angesicht
 Ich schon mit dem meinen
 dankbar wollt erscheinen,
 willst du doch kein Opfer nicht.

6. Rezitativ (Alt)

Wie soll ich dir, o Herr, denn sattsamlich vergelten,
 was du an Leib und Seel mir hast zugut getan?
 Ja, was ich noch empfang, und solches gar nicht selten,
 weil ich mich jede Stund noch deiner rühmen kann?
 Ich hab nichts als den Geist, dir eigen zu ergeben,
 dem Nächsten die Begierd, daß ich ihm dienstbar
 werd, der Armut, was du mir gegönnt in diesem Leben,
 und, wenn es dir gefällt, den schwachen Leib der Erd.
 Ich bringe, was ich kann, Herr!
 Laß es dir behagen,
 daß ich, was du versprichst,
 auch einst davon mög tragen.

3. アリア (アルト)

地上に生きている間に創造主の姿に
 わずかでも近づくことが出来るなら、
 天の至福の先駆けを味わうことになる。
 神の憐れみに習うことは
 ここで（地上で）幸せの種を蒔き
 天の国で刈り取るのだ。

4. アリア (バス)

善い行いと施しを忘れるな、
 なぜなら、このような捧げものこそ神の喜び。

{ヘブライ人への手紙13:16}

5. アリア (ソプラノ)

至高の神よ、わたしが持っているものは皆、
 あなたから頂いたもの。
 あなたの御顔の前で
 私のものを携えて、
 感謝の思いを表わそうとしても、
 あなたはそのような捧げものを望まれない。

6. レチタティーヴォ (アルト)

それならば主よ、どうすれば十分にお応え出来ましょうか、
 あなたが、私の身体と魂のために下さった恵みに？
 そう、今も、それも度々にわたって頂く恵みを、
 その度ごとに感謝できるでしょうか？
 私はこの魂以外にお捧げ出来るものはありません。
 隣人の欲求に対して、そのお役に立ちたいという、
 この世で私に与えられた貧しい人々の、
 そして御旨に従い、この世における弱い命をあなたに捧げます。
 主よ、私にできる全ての捧げものをいたします。
 どうか受け入れてください。
 そしてあなたが約束されたもの（命）を
 頂くことが出来ますように。

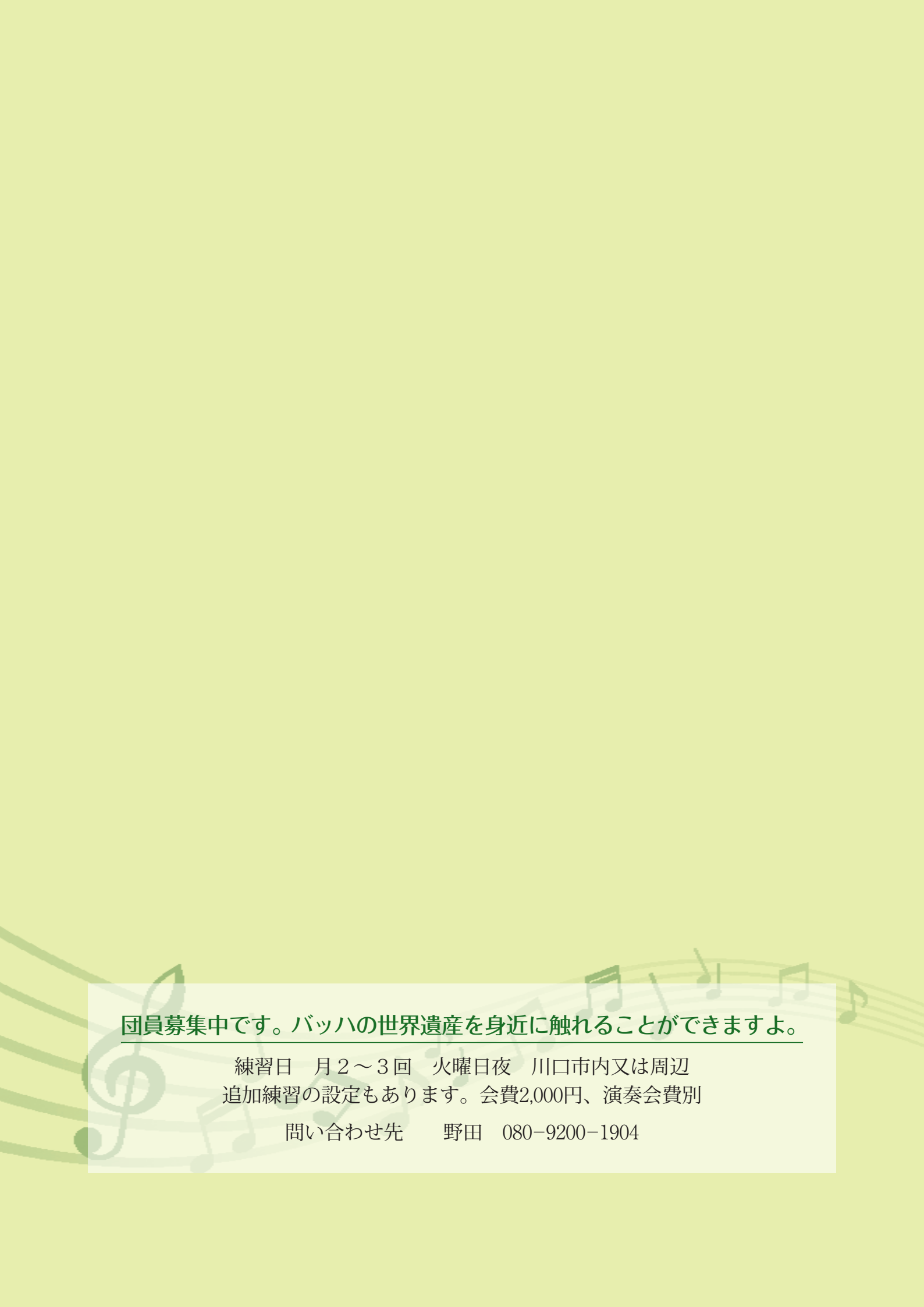
7. Choral

Selig sind, die aus Erbarmen
sich annehmen fremder Not,
sind mitleidig mit den Armen,
bitten treulich für sie Gott.
Die behülflich sind mit Rat,
auch, wo möglich, mit der Tat,
werden wieder Hülfe empfangen
und Barmherzigkeit erlangen.

7. コラール

憐れみ深い人は幸い、
他人の重荷を身に受け、
貧しい人を思いやり、
彼らのために心から神に祈る人。
言葉で励ましを与え、
出来るときには行いで助ける人、
その人たちは同じように神の助けを受け、
憐れみを手に入れるであろう。





団員募集中です。バッハの世界遺産を身近に触れることができますよ。

練習日 月2～3回 火曜日夜 川口市内又は周辺
追加練習の設定もあります。会費2,000円、演奏会費別

問い合わせ先 野田 080-9200-1904